

あせらず着実な学習を！

センター試験初日（1月19日）まで100日を切りました。一般受験に向けてのカウントダウンの始まりです。みなさんの学習もそろそろ「手応え」を感じる段階に入ってきたのではないのでしょうか。「伸びている」と感じ始めたこの時期からが本当の力がつく時期になります。現役生は最後の1週間、いや試験当日まで伸び続けます。決して焦らずに着実な学習を積み重ねましょう。

この時期に意識しなければならないことは…

- ①弱気にならずに最後まで第一志望校を追求する。
- ②その上で自分の現在の到達点と課題を明らかにし、合理的な「受験プラン」を立てる（受験プランについては後ほど改めて考えてみましょう）。
- ③センター試験までのあと3か月、個別試験・私大受験までのあと4か月で「何をどのように行うのか」を具体的に把握する。その際、これまでの学習計画をベースにしながらも弾力的な思考で軌道修正も行う（「手応え」を感じ始めたここからの計画は、各自の課題に即した「現実的」な計画になるはずです）。
- ④受験勉強の基本になるのは（この時期であっても、いや、この時期だからこそ）学校の授業と、規則正しい生活です。そろそろ朝型に切り替えて体調管理も万全に（風邪をひくなどもってのほかです）。

優れた「生活&学習リズム」とは？

昨年の修学旅行後に、「受験生0学期」と称して受験を意識し始めたわけですが、この1年を振り返って学年進路担当として感じる率直な感想は「二極化」です。昨年度までの、「英数国の基礎（英単語・古文単語、数学の典型問題の演習 etc.）は2年次のうちに完成させよう！」「文系の地歴公民、理系の理科は、1科目は受験を意識して勉強を始めよう」といったアドバイスに素直に耳を傾けて、コツコツと努力を重ねてきた人は、模試でも順調に成果を出し始めています。逆に、「面倒だ」「負担が多い」と文句を並べただけの人には、自分ではリズムを作りだすことができず、結局いま、予備校、通信教材、補習等に依存（「活用」ではありません）することになり、伸びていないという状況が散見されます。「伸び悩んでいる」という自覚症状がある人は、まずは自分自身を変える努力から始めてください。その日の「気分」で勉強をやったりやらなかったりするムラっ気がある人は、間違いなく失敗への道をおっ走っているといえます。以下のチェック項目を見てください。

- 毎週進路室前の情報をチェックしている
- 毎日教室の掲示を見て予定等を確認している
- 担任の連絡を聞き漏らすことはない
- 朝早めに登校している（遅刻・欠席はご法度！）
- 放課後はすぐ学習に取り掛かるか、帰るなど切り替えが早い（無駄な団欒の時間が少ない）
- 本番までの学習目標と計画が頭にある（または書いてある）
- 掃除の時間は無駄にしゃべらずさっさと済ませてしまう
- 主要教科（文系：国語地、理系：英数理）を毎日バランスよく勉強している
- 始業のチャイム前には教科書・ノートが準備してある

いかがですか？ 全てに☑がつけば問題ありません。すでに理想のリズムが確立しています。ここで危険なのは☑が6個以下の人です。この人たちは「自分のペース」を勘違いしています。例えば、朝が遅い人というのは学校のリズムではなく、自分のリズムを第一に考えるため、そこに合わせた生活習慣を確立できない人です。入試日程や学習すべき内容（入試まで100日を切ったこの時期の受験勉強では、科目間の偏りのない学習も重要。例えば、「得意科目の〇〇はもう大丈夫だからやらない、不得意科目の△△の学習に集中する」といったパターンは、不合格街道まっしぐらといえます）などよりも、自分がしたい勉強をしたい時間にするといい、不合格への負のスパイラルに陥っていませんか？

第1回ベネッセ駿台マーク模試(9月) 成績概況

来週前半には、皆さんの手元に成績個票が返却されます。夏休み明け以降の模試成績は、今後志望校を選定していく上での基礎データとなります。返却される模試の判定や、6月に配布済みの冊子『進研模試 合格ライン2018』の大学・学部・学科別の合格者平均偏差値&平均得点のデータを参考にして、具体的にどの大学を受験するのか、本格的に検討を始めましょう！

表1：コース別&科目別 平均点偏差値（学年間比較）

	5-8文	5-7理	国英社	数英理	国語	数IA	数IB	英筆記	英リス	世界史	日本史
131回生	55.7	52.1	58.9	52.4	55.4	51.8	51.3	56.5	55.3	55.0	58.9
130回生	55.0	50.3	58.0	50.9	55.0	51.5	50.6	55.0	56.2	55.0	55.2
129回生	53.0	49.4	57.1	50.8	53.6	49.5	49.1	53.9	56.2	53.2	56.6

	地理	政経	現社	倫&政	倫理	物理	化学	生物	化学基	生物基	地学基
131回生	51.1	59.4	60.5	53.5	59.6	49.1	51.3	55.5	54.0	59.0	56.4
130回生	48.3	56.4	62.3	56.3	53.8	49.1	48.7	53.3	57.3	58.1	56.7
129回生	51.1	57.9	58.8	54.3	52.1	48.3	51.2	53.0	57.5	53.7	55.4

表2：「自己採点」&「得点」 科目別誤差

	国語	数IA	数IB	英筆記	英リス	世界史	日本史	地理	政経
実際の得点	132.8	55.6	44.9	140.5	33.0	59.8	68.1	54.5	58.0
自己採点	138.3	56.7	46.3	141.3	33.3	59.1	66.9	55.4	55.4
誤差	-5.5	-1.1	-1.4	-0.8	-0.3	0.7	1.2	-0.9	2.6

	現社	倫&政	倫理	物理	化学	生物	化学基	生物基	地学基
実際の得点	66.3	60.5	64.2	49.4	49.7	53.3	28.7	33.5	30.0
自己採点	67.2	63.8	63.7	50.1	49.7	54.9	28.6	33.8	29.8
誤差	-0.9	-3.3	0.5	-0.7	0	-1.6	0.1	-0.3	0.2

センター試験本番においては、皆さんの自己採点の結果のみがその後の出願プランの判断材料となります。ご存知の通り、大学入試では合格ラインの1点には前後に数百人がいるわけですから、わずか1点の自己採点ミスが大きな誤算を生むこととなります。そんな失敗をしないためにも、皆さんには、記述・マークを問わず1年次から自己採点のトレーニングをしてきてもらいました。しかし、表2にあるとおり、実際にはまだまだズレがあるようです。今年度のマーク模試もあと2回（11/3, 25）を残すのみ。1月のセンター試験本番を見据え、1点の狂いもない自己採点を心がけましょう。